

●三位一体後第二十主日

泉のほとり

今月の詩編「第七十六編」

神はユダに御自らを示され

イスラエルに御名の

大いなることを示される。

神の幕屋はサレムにあり

神の宮はシオンにある。



死を超える希望の源

教会は希望を見ながら人を葬ります。希望のない葬式は行いません。ナインの町の若者を主イエスが甦らせた話は、その希望がどこにあるかを明確に示しています。

主イエスの一行がナインの町の門のところまで、若者を葬る葬列に出会ったのは偶然ではないと思います。それは主イエスのあり方によるのです。主イエスは、歩き回る人です。一箇所にじっとしていないであちこちを歩き回るので。そうやって罪と戦うのです。具体的には、神さまから離れてしまった人を取り戻すのです。徴税人や罪人を招いて一緒に食事をし、悪霊に憑かれて自分を失ってしまった人から悪霊を追い出し、病や障害のために礼拝に集えない人を癒されたのは、みなその戦いの業です。そしてこういう主イエスだからこそ、ナインの町の葬列に出会ったのです。

死んだ若者はやもめのひとり息子でした。母親にとって唯一の希望だった人です。こういう死は残酷です。主はこの母親の様子をご覧になって、激しく心を動かされました。そして母親に「もう泣かなくともよい」と言われます。わたしが来たからには、泣く必要はないのだと言われたのです。激しい言葉です。主イエスはラザロの墓の前でも激しく心を動かされました。ラザロの姉妹や人々が泣いているのを見て憤りを覚え、興奮されたのです。その後には、主ご自身が涙を流されました。わたしたちには不思議に思われます。この後、主はラザロを復

活させられるからです。何故憤ったり、興奮したり、泣く必要があるのでしょうか。

主はわたしたちよりもずっと深く死の現実をご存じなのです。神さまから離れて罪の中にある人間の死は滅びです。肉体だけでなく存在そのものが消えてしまふのです。その恐ろしさを本当に知っておられたのは主イエスです。だから十字架の死を前にして、主は恐れおののかれたのです。そして、わたしたちがその恐ろしい死を死ななくていいように、ご自分が罪の購いとなつて、十字架で死んでくださいました。

葬列を止めた主は、若者を復活させられます。悲しみの行列は喜びの行列となつて引き返して行きました。母親は甦った若者と幸せに暮らしたことでしよう。そしていつか母親も死に、若者ももう一度死にました。そして二度と甦らなかつたのです。

主イエスがなさった死者の復活の働きは「しるし」です。しるしに過ぎません。復活した者も、もう一度死んだからです。大事なものはしるしそのものではなく、それが何のしるしかです。それは、神でいます主イエスが、わたしたちを心にかけてくださって、罪の故に死んで滅んでしまうことを食い止めようと、十字架で死んでくださったこと、そして復活されたことです。死も罪も、主イエスを支配することはできないからです。この主イエスの中に希望があります。この主イエスの中にだけ、死を超える希望があります。

2025年度

教会全体課題

聖書の御言葉に生きる。

わたしたちのヴィジョン

主イエスの愛の中で、

愛と交わりを通して

お互いに成長する教会

《今日のお知らせ》

○ 礼拝後、信仰者たちに学ぶ会を地下ホールで行います。聖書、讃美歌をお持ちの上、ご参加ください。

○ 運営委員会、各小委員会がそれぞれ行われます。

○ 教会員メールでお知らせした通り、伊藤知恵子姉が十一月一日(土)にお亡くなりになりました。ご遺族のためにお祈りください。
出棺式は十一月四日(火)午後一二時四〇分から、葬儀は十一月二日(水)午後二時から行う予定です。

《ぶどうの会より》

本日、ぶどうの会はお休みです。

《運営委員会より》

教会員懇談会の開催について

次週十一月九日(日)一二時一五分、教会員懇談会を地下ホールで開きますので、どうぞご参加ください。
今年度役員会で取り組んでいることのご報告と質疑応答です。

《教育奉仕委員会より》

集合写真撮影のお知らせ

十一月六日の礼拝は、品川教会の教会記念日礼拝です。今回、久しぶりに、主日礼拝に集う皆様の集合写真を撮影しますので、礼拝直後の時間、ぜひご参加ください。

《手仕事の会オリーブより》

手仕事の会オリーブは、次週十一月九日にお店を開きます。中島富子姉作のニット帽子、澁澤さと姉から送られたカードなど、プレゼントにもなる手作りの新作を扱います。ぜひいらしてください。

場所は一フロビーです。時間は

・一〇時～一〇時二〇分

・懇談会の後、約二〇分間の二回です。
お待ちしております。

《交 読 詩 篇》

※会衆は太字の箇所を唱和します。

〔司・会〕の箇所は司式者と会衆が合わせて唱和します。

〔詩篇七十六篇〕 指揮者によつて。

伴奏付き。賛歌。

アサフの詩。歌。

神はユダに御自らを示され

イスラエルに御名の太なることを示される。

神の幕屋はサレムにあり

神の宮はシオンにある。

そこにおいて、神は弓と火の矢を砕き

盾と剣を、そして戦いを砕かれる。

あなたが、餌食の山々から

光を放つて力強く立たれるとき

勇敢な者も狂気のうちに眠り

戦士も手の力を振るいえなくなる。

ヤコブの神よ、あなたが叱咤されると

戦車も馬も深い眠りに陥る。

あなたこそ、あなたこそ恐るべき方。

怒りを発せられるとき、

誰が御前に立ちえよう。

あなたは天から裁きを告知し

地は畏れて鎮まる

神は裁きを行うために立ち上がり

地の貧しい人をすべて救われる。

怒り猛る者もあなたを認める

あなたが激しい怒りの名残を

帯とされるとき。

あなたたちの神、主に誓いを立て、

それを果たせ

取り囲むすべての民は

恐るべき方に貢ぎ物をもたらすがよい。

〔司・会〕

地の王たちの畏れる方は

支配者の霊をも断たれるであらう。

《今日の子ども礼拝》

●子ども礼拝（午前9時20分・地下ホール）

説教 「神は遠く離れてはおられない」

聖書 使徒17章22〜28節

説教者 宮間 彰広 兄

《次週の礼拝》

●子ども礼拝（午前9時20分・礼拝堂）

説教 「成長の先にあるもの」

聖書 エフエソ4章12〜16節

説教者 吉村 和雄 名誉牧師

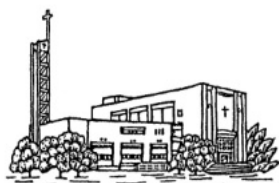
●主日礼拝（午前10時30分・礼拝堂）

讃美歌 336番 276番

説教 「忍耐しなさい」

聖書 ヤコブ5章1〜11節

説教者 黄允湜 牧師





主日礼拝 (午前10時30分)

讃美歌 533番 279番
説教 「自分の分を越さない信仰」
聖書 ヤコブ4章11～17節(新約 P.425)
司式 石川 一 兄
聖餐司式 黄 允湜 牧師
説教者 黄 允湜 牧師

前奏曲「父、み子、みたまの一人の神を信ず」 J.S.バハ

○讃美歌533番

1. くしき主の光 ころろに満つ
み空わたる日の かげにまざる ※

※(くりかえし)
ああ主よ、わが主よ かがやくみすがたを
胸にうつすとは わが主の恵み

2. くしき物の音は ころろにみつ
口に言い得ねど 主はききたもう ※

3. 春ののどけさは ころろにみつ
とりは声きよく 花はかおる ※

4. 愛のよろこびは ころろにみつ
かくてわが歌は ついに成りぬ ※

アーメン

※礼拝のしおりと讃美歌をお持ちください。

○聖歌隊による讃美

「たてよいざたて」(讃美歌380番) G.J.Webb 曲

1. たてよ、いざたて 主のつわもの
見ずやみ旗の ひるがえるを
すべてのあだを ほろぼすまで
君は先立ち 行かせ給わん
2. たてよ、聞かずや 主のつのぶえ
いざたたかひの 門出いそがん
君が隊(て)につく この身なれば
くもなすあだも 何か恐れん
3. たてよ、わが主の 力により
神のよろいを固くまとい
みたまのつるぎ うちかざして
おのが持ち場に いさみ進め
4. たてよ、いくさは やがておわり
とわの勝ち歌 高く歌い
尽きぬ命の冠(かむり)受け
さかえの君と ともに治(おさ)めん

○讃美歌279番

1. 世のほこる 知恵とさとり
頼りがたきを 知らしめたまえ
月かげの 青きより澄みて
わが魂に そそがせたまえ
まことのひかり

2. 世のしたう 愛となさけの
移り易きを さとらせたまえ
あかつきの ひかりより清く
わが魂に みたしめたまえ
とこしえの愛

3. 主にありて 生くるわが身の
きよき喜び うたわせたまえ
真理、愛、いのちも望みも
主よりいずれば あおがせたまえ
イエス・キリストを アーメン

聖餐曲「アダージョ」 C.M.グァイナル

後奏曲「おお主よ、心より汝を愛す」 J.G.グァルター